

DX戦略

CDIOメッセージ

CDIO : Chief Digital Innovation Officer

りそなホールディングス
執行役兼グループCDIO

川邊 秀文



変化の激しい時代において、一つの企業での提供価値の拡大は限界を迎えつつあり、優れた機能や技術を有するプレイヤーとのアライアンスによる共創を通じ、お客さまのみならず、すべてのステークホルダーの皆さまに新たな価値を提供することが重要だと考えています。

共創によるお客さま提供価値の拡大

開発パートナーにチームラボ社や日本IBM社を迎え、2018年に個人のお客さま向けに「りそなグループアプリ」を展開し、2024年のリニューアルなど、日々改善を続けることにより、同アプリは個人のお客さまにもっともご利用いただけるチャネルとなっています。また、中小企業のお客さまにもより簡単・便利にお取引をしていただくため、2023年に法人のお客さま向けに、りそなグループアプリのノウハウを注ぎ込んだ「りそなグループアプリ for ビジネス」の提供を開始し、5万件以上ダウンロードされるなど順調に利用が拡大しており、多くの法人のお客さまにご利用いただけるチャネルに成長しています。今後もさらなるデジタルチャネルの利便性の追求に挑戦し続けていきます。

個人のお客さまの生活や法人のお客さまの経営に寄り添ったサービスをよりスピーディーに拡充するため、自社単独による構築だけでなく、“仲間”との共創によるサービス創出にも取り組んでいます。決済領域においては2024年のJCB社との業務提携や2025年5月のデジタルガレージ社との業務提携強化を通じ、決済に関する優れた機能や技術をお客さまへお届けする取り組みを強化しています。また、データ領域ではブレインパッド社、保険領域ではソフトバンク社とアライアンスを組むなど、ともにステークホルダーの皆さまへの新たな価値提供を目指す“仲間”は着実に増加しています。

プラットフォームを通じた価値の共有

りそなグループとパートナー企業の共創により生み出された新たな価値を、より多くの人や企業に届けるため、オープンな「金融デジタルプラットフォーム」を通じて共有しています。プラットフォームの利用企業である地域金融機関は7グループ8銀行と着実に拡大しており、バンキングアプリやファンドラップの提供だけでなく、りそなとブレインパッド社の分析ノウハウが組み込まれたAIを活用した銀行業務支援ツールの提供も開始しています。

このように業界の枠を超えて着実にプラットフォームが拡大しているのは、お客さまへの新しい価値提供を通じ、社会をより良くしたいという各社の想いが表れたものだと思います。プラットフォームのご利用・ご参加企業の皆さまとの対等なパートナーシップをさらに広げていくことで、より良いサービスをより早く、より効率的にステークホルダーの皆さまへお届けすることができ、結果として競争力の向上につながっていくものと考えています。

